

「平成29年度に実施した仕事」の振返りシート

記入日 平成30年 6月 1日

仕事の内容	定期予防接種の実施					
担当部署・課長名	健康課	課	予防	係	課長名	志村 明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 保健・医療の充実

(総合計画書 47 ページ)

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 2 予防費	事業 1 予防事業費
予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 1 保健衛生総務費	事業 2 保健事業費

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 予防接種法施行令及び予防接種実施要領で定められた対象年齢である市民	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 予診票送付件数 ①A類予防接種(努力義務)予診票送付件数 ②B類予防接種(希望による)予診票送付件数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 対象疾病にかかることを予防し、他者への感染を防止する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ① A類実施件数/A類予診票送付件数 ② B類実施件数/B類予診票送付件数
	③ そのために何をしましたか。 対象者に個別通知をし、医師会との委託契約により個別予防接種を実施した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 予防接種を実施した件数 ①A類予防接種(努力義務)実施件数 ②B類予防接種(希望による)実施件数

		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値 ②の数値	① 16,938 ② 26,717	① 17,982 ② 27,187	① 17,780 ② 27,963		
	成果指標	②の数値 ①% ②%	① 97.29 ② 48.44	① 95.37 ② 49.03	① 98.76 ② 45.75		
	目 標	②の目標値 ①% 目標値設定の考え方				①99.0②49.0	①99.5 ②49.5
	活動指標	③の数値 ①件 ②件	① 16,597 ② 12,942	① 17,149 ② 13,331	①17,560 ②12,794		
	接種率の更なる向上を図る						

3 経費	事業費(実績)		円	211,825,814	214,991,615	217,493,421	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	201,596,814	204,724,615	207,436,421	
		特定財源	円	10,229,000	10,267,000	10,057,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.5	1.5	1.5	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	12,334,950	12,400,500	12,379,500	
職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	224,160,764	227,392,115	229,872,921		

この仕事における市の裁量 市の裁量はない

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 予防接種法(昭和23年6月30日法律第68号、最終改正平成25年12月13日)第3条に基づき開始。伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために公衆衛生の見地から予防接種の実施その他必要な措置を講ずることにより、国民の健康の保持に寄与することを目的に実施。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 近年、定期化する予防接種の種類が増加している。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	東大和市医師会から、B型肝炎予防接種について、平成28年10月開始の定期予防接種の対象とならなかった児童について、一部費用助成することにより、B型肝炎予防接種の接種率の向上を図り、もって、将来的にB型肝炎の発症リスクを軽減するよう助言があった。

仕 事 の 内 容	定期予防接種の実施			
担当部署・課長名	健康課	課	予防係	課長名 志村 明子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組んだ	取組手法	⑥情報提供・情報交換(広報媒体:市報・ホームページ・東大和スタイルアプリ)	
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
定期予防接種の多くは、被接種者の感染防止にとどまらず、市民への感染のまん延防止にもつながることから、接種率の向上を図るため効果的な情報提供の媒体の導入について検討する。				
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。			
	平成30年度に向けて、これまで紙ベースだったワクチン注文表を、excel表で作成し、月ごとの集計が自動計算できるように準備した。			
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。			
定期予防接種の種類増加により制度が複雑化し、事務量が増えている。				
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	・予防接種の委託料単価について、同時接種と単独接種に分かれているものを一本化し、かつ、協定市(11市)の中庸になるよう検討を始める。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。			
	・関係機関と連携協力する。			
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。